国立研究開発法人日本医療研究開発機構

革新的医療技術創出拠点

令和6年度 成果報告会

会場 & WEB配信

参加無料

医療イノベーション推進の“有効成分”とは?
～挑戦を続けるARO

革新的医療技術創出拠点では、橋渡し・臨床研究基盤を強化・充実化し、シーズ開発及び実用化を推進することを目的に、文部科学省認定の橋渡し研究支援機関が実施する「橋渡し研究プログラム」と厚生労働省承認の臨床研究中核病院が実施する「医療技術実用化総合促進事業」の両事業で一体的支援を進めています。本年度の成果報告会では、AMED第2期での成果報告に留まらず、第3期を見据えて革新的医療技術創出拠点が描く未来や革新的な研究成果の発掘・選定・育成に重要な事項等について議論を深めます。さらに本年度開始された大学発医療系スタートアップ支援プログラムやReal World Evidence創出のための取組み、橋渡し研究支援機関による支援シーズの成果等についても報告するとともに、産学官民の視点から革新的医療技術創出拠点の共進化を思索することで本邦の医療イノベーション推進に貢献します。

ポスター発表については、デジタルポスターだけでなく、全拠点からの現地発表に加え、“橋渡しコンシェルジュ“を用意し、拠点支援利活用や研究費提案のよろず相談も受け付けます。

令和7年 3月 4日(火) 13:00～18:00 ▶ 5日(水) 10:00～17:30

【オンデマンド配信】
令和7年
3/7(金)～3/26(水)(予定)

【ポスター配信】
令和7年
2/25(火)～3/26(水)(予定)

※革新拠点等の成果や取組みに関するポスターをWEB掲載し、一部については現地発表も行います。

実施会場

大手町三井ホール
〒100-0004
東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One 3階

Access

- 東京メトロ千代田線・丸ノ内線・半蔵門線・東西線・都営三田線「大手町」駅C4・C5出口直結
- 東京メトロ東西線「竹橋駅」徒歩5分
- JR「東京駅」(丸の内中央口)徒歩14分

下記ホームページよりお申込みください。QRコードからもアクセスできます。

事前申込制申込方法 https://amed2024kyoten.com

定員:会場300名、当日ウェブ配信参加600名　定員に達し次第、締め切りとなります。

なお、オンデマンド配信、ポスター配信の閲覧のみの場合にも申込みが必要となります。申込み後、閲覧用のURLをお知らせします。

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

国立研究開発法人日本医療研究開発機構　シーズ開発・研究基盤事業部　拠点研究事業課
東京都千代田区大手町1-7-1　読売新聞ビル21階　https://www.amed.go.jp/
[お問い合わせ]令和6年度成果報告会　運営事務局(株式会社ライノ・コネクト内)
E-mail:amed2024kyoten@plan-sms.co.jp

会場＆WEB配信　参加無料

革新的医療技術創出拠点 令和6年度成果報告会

プログラム

3/4 火 13:00～18:00

13:00～

開会挨拶
- 三島良直　日本医療研究開発機構　理事長

来賓挨拶
- 釜井宏行　文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課　課長
- 飯村康夫　厚生労働省 医政局 研究開発政策課 治験推進室　室長

13:15～

革新拠点が描く未来　パネルディスカッション
- 梅田浩史　日本医療研究開発機構 シーズ開発・研究基盤事業部　部長　＜座長＞
- 金田安史　大阪大学 本部　理事／副学長 シーズ開発・研究基盤プロジェクト　プログラムディレクター
- 金倉譲　住友病院　院長 橋渡し研究プログラム　プログラムスーパーバイザー
- 楠岡英雄　国立病院機構　名誉理事長 医療技術実用化総合促進事業／研究開発推進ネットワーク事業　プログラムスーパーバイザー
- 久保庭均　バイオインダストリー協会　運営会議議長 大学発医療系スタートアップ支援プログラム プログラムスーパーバイザー
- 中西洋一　北九州市立病院機構 機構本部　理事長 橋渡し研究支援プログラム　シーズ評価委員長 臨床研究・治験推進研究事業　プログラムスーパーバイザー
- 釜井宏行　文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課　課長
- 飯村康夫　厚生労働省 医政局 研究開発政策課 治験推進室　室長

15:00～

ポスター発表コアタイム
橋渡しコンシェルジュ（よろず相談受付）　〈ホワイエにて開催〉

16:00～

事業関連コンサルティングファームから見た革新拠点　講演
- 稲垣治　橋渡し研究プログラム　プログラムオフィサー　＜座長＞
- 渡邉裕司　医療技術実用化総合促進事業 プログラムオフィサー　＜座長＞
- 小夫聡卓　デロイトトーマツグループ ライフサイエンス マネージングディレクター
  「製販企業ニーズ調査結果からみる拠点研究シーズの期待と役割」
- 南雲俊一郎　日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門ヘルスケア・事業創造グループ　部長／プリンシパル
  「研究支援業務を通した研究開発課題の実用化/事業化にむけて」
- 山口将太　三菱総合研究所 ヘルスケア事業本部　主任研究員
  「アカデミア発シーズを社会実装へ繋ぐために ― 施策連携・民間連携のご提案」

16:50～

研究費獲得の“有効成分”とは？≪ARO協議会連携企画≫　講演
- 渡邉裕司　医療技術実用化総合促進事業 プログラムオフィサー　＜座長＞
- 塩塚政孝　日本医療研究開発機構 シーズ開発・研究基盤事業部 拠点研究事業課 主幹, AMED-PO
  「橋渡し研究費提案時のキーポイント」
- 小川靖　名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部　講師
  「拠点は研究費獲得の有効成分？ - 名古屋大学の取組み」
- 大塚佑基　東北大学病院　臨床研究推進センター 開発推進部門　特任助教
  「CRIETOにおける研究費獲得支援」
- 稲垣治　橋渡し研究プログラム　プログラムオフィサー
  「課題評価におけるPOと評価委員の違い」

17:45～

1日目　総括
- 金倉譲　住友病院　院長 橋渡し研究プログラム　プログラムスーパーバイザー

3/5 水 10:00～17:30

10:00～

大学発医療系スタートアップ支援プログラム ～日本らしいエコシステムを目指す！
講演とパネルディスカッション
- 久保庭均　バイオインダストリー協会　運営会議議長 大学発医療系スタートアップ支援プログラム プログラムスーパーバイザー　＜座長＞
- 島崎誠　大学発医療系スタートアップ支援プログラム プログラムオフィサー　＜座長＞
- 町野毅　筑波大学　つくば臨床医学研究開発機構 橋渡し研究推進センター長
  「国際展開を目指した医療系スタートアップの育成拠点」
- 佐藤暁洋　国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門　部門長
  「サイエンスでがん医療の未来を創造する大学発医療系スタートアップ支援拠点」（講演のみ）
- 許斐健二　慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター　副センター長／教授
  「慶應義塾スタートアップ推進拠点 (Keio Biomedical Accelerator)構築による革新的医療シーズの早期社会実装と, 大学発スタートアップ・エコシステムの創成」
- 戸高浩司　九州大学／九州大学病院 生命科学革新実現化拠点／ARO次世代医療センター　拠点統括／センター長
  「総合知を新医療へ, 九州・沖縄・西日本を挙げてアジアへ繋がる医療系スタートアップエコシステムの構築」
- 金澤佳人　第一三共株式会社 研究開発本部研究イノベーション企画部 オープンイノベーショングループ　主幹
- 原田直純　ユナイテッド・イミュニティ株式会社　代表取締役会長・創業者
- 野々村和彦　RDiscovery株式会社 プリンシパル
- 土原一哉　国立がん研究センター 橋渡し研究推進センター　センター長

12:00～

昼休憩

13:00～

Real World Evidence創出のための取組み～臨中ネット
講演とパネルディスカッション
- 楠岡英雄　国立病院機構　名誉理事長　医療技術実用化総合促進事業／研究開発推進ネットワーク事業 プログラムスーパーバイザー　＜座長＞
- 近藤充弘　医療技術実用化総合促進事業　プログラムオフィサー　＜座長＞
- 白鳥義宗　名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター　センター長・病院教授
  「Real World Data利用促進のための臨中ネット　現状と課題」
- 松木絵里　慶應義塾大学医学部 血液内科/臨床研究推進センター　専任講師
  「臨中ネットを通じて考える本邦のReal World Data研究の現状と今後」
- 東郷香苗　日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 臨床評価部会推進委員/医療情報DB活用促進タスクフォース
  「製薬企業におけるReal World Evidence創出のための取組みと臨中ネットへの期待」

14:15～

ポスター発表コアタイム
橋渡しコンシェルジュ（よろず相談受付）　〈ホワイエにて開催〉

15:00～

橋渡し研究支援機関が導くシーズ支援の“有効成分”とは？ ～開発シーズの成果報告　講演
- 田代聡　橋渡し研究プログラム　プログラムオフィサー　＜座長＞
- 朔啓太　橋渡し研究プログラム　プログラムオフィサー　＜座長＞
- 橋渡し研究支援機関
  （北海道大学・東北大学・筑波大学・国立がん研究センター・東京大学・慶應義塾・名古屋大学・京都大学・大阪大学・岡山大学・九州大学）11機関より, 拠点支援の成果が顕著なシーズを各1題報告します。

17:15～

全体総括, 閉会挨拶
- 楠岡英雄　国立病院機構　名誉理事長　医療技術実用化総合促進事業／研究開発推進ネットワーク事業　プログラムスーパーバイザー

※敬称略。プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。